

平成 29 年度 熊本学園大学 春期公開講座

平成 29 年度の春期公開講座は 2 つの講座を開講いたします。ぜひご参加ください。

講義 I

震災の教訓 -熊本地震から学ぶべきことは何か-

講義時間
10 時～
12 時

2016 年 4 月、これまでに経験したことのない二度の大きな地震が熊本を襲い、平穏な日常が一変しました。その地震から 1 年が経ち、日常生活を取り戻しつつあるものの、まだ熊本の各地で復旧・復興が続いています。本講座では熊本地震が与えた様々な影響を、地質、経済、福祉という視点から考察し、この震災経験が将来に活かされるよう、これからの課題を明確にしていきたいと思ひます。

全 5 回

◇開講期間：5 月 13 日～7 月 8 日(第 2・第 4 土曜) 10 時～12 時

講義日	講義テーマ	講 師
5/13 (土)	高齢者・しょうがい者を受入れた熊本学園大学避難所	花田 昌宣
5/27 (土)	熊本復興の経済学	小葉 武史
6/10 (土)	熊本地震の正体	新村 太郎
6/24 (土)	益城町での経験を通して、住民として研究者として考えたこと	和田 要
7/ 8 (土)	「非日常の暮らし」を守る活動の意味 -避難者から教えていただいたこと	井上 ゆかり

講義 II

多文化共生社会の創造に向けて -日本社会の課題-

講義時間
13 時～
15 時

グローバル化の進展に伴い、日本社会も外国人の観光客や労働者が増加傾向にあります。多言語多文化多民族からなる人々と協働する職場も増え、地域の人たちと交流し生活する姿も珍しくありません。このような変化の中で、日本は多文化共生社会と言える仕組みや性質を十分に備えているかを、外国出身の講師陣や日本語教育の専門家と共に考えたいと思ひます。

全 5 回

◇開講期間：5 月 13 日～7 月 8 日(第 2・第 4 土曜) 13 時～15 時

講義日	講義テーマ	講 師
5/13 (土)	地域における日本語教育の現状と課題	塩入 すみ
5/27 (土)	日本が支えてくれた私の 13 年間	エイ チャンプイン
6/10 (土)	多文化共生社会を象徴する日本の公衆トイレ	米岡 ジュリ
6/24 (土)	アジア共生とフェアトレード大学	申 明直
7/ 8 (土)	鴻海から見た中国の企業文化： シャープにどんな影響を及ぼすのか	喬 晋建

募集要項 (共通)

- 対象：社会人 ■定員：各 80 名 (先着順) ■受講料：各 5,000 円
- 募集期間：平成 29 年 4 月 4 日(火)～4 月 18 日(火) 必着
- 申込方法：①裏面の申込書にご記入の上、郵送または F A X でお送りください。
②受講料払込用紙を郵送いたしますので、指定期日までに払込ください。

〈お申込み・お問合せ〉

熊本学園大学 学術文化課

〒862-8680 熊本市中央区大江 2 丁目 5-1

FAX 096-366-3158

TEL 096-364-8729 (直通) 月曜～金曜 9:00～17:00

<http://www.kumagaku.ac.jp/community>

熊本学園大学 公開講座

検索

